

新年のご挨拶 あいさつ



上ノ国町議会
議長 若狭 大 四 郎

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は町民の皆様方の深いご理解と温かいご支援、ご協力のもとに議員活動を通じ、町政推進に精励できますことに対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、本町を取り巻く状況は、長引く経済不況により地域経済は疲弊し、雇用情勢に厳しさを増し、高齢化と人口減少が進行するなか、大きな岐路に立たされております。

時代は地方分権の推進により、地方の自主的な意志決定と責任の

範囲が拡大し、議会は意志決定機関として町が行う事務を広く町民の皆様方に明らかにする義務があります。

しかし、現在の地方議会は様々な慣例や制度などにより硬直化しており、議会の活性化への取り組みが重要であります。そこで、本町議会も町民の目線に立ち、真に

町民に開かれた議会を目指して一昨年の六月議会定例会において「議会改革推進特別委員会」を設置し、議会のあり方、活性化方策等に関して協議を進め、昨年十一月町内五ヶ所において議会住民懇談会を実施したところであります。

我々議員一同はその主旨を十分理解し、その責務の重大さと使命を再認識すると共に、本町の更なる発展に尽力し議会活動に邁進してまいりますので、町民の皆様のお一層のご協力、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成二十三年元旦

新年のご挨拶 あいさつ



上ノ国町教育委員会
教育長 金子 廣

新年、あけましておめでとうございます。

過ぎし一年、経済対策効果で景気の持ち直しと言われる中、政治の混迷や展望の見えない雇用情勢など、国民生活は期待と不安の間を行きつ戻りつするものとなりました。また、口蹄疫や猛暑と異常気象による被害、高齢者の所在不明や角界の賭博事件などが暗い影を落とした一方で、冬季五輪やサッカーW杯での日本勢の活躍、小惑星探査機「はやぶさ」の快挙、ノーベル化学賞を日本人二人が受賞するなど感動と夢を与え、明るい出来事もたくさんありました。さて、子供たちを巡っては、虐待事件やいじめにより自ら命を

絶つという痛ましい事故も相次ぐなど、命を大切にする教育のありようを考えさせられました。発達段階における豊かな人間性と確かな学力を育む多彩な学びの展開を重視し、学校・家庭・地域はもとより、社会教育・生涯学習とも緊密に連携しながら支援・充実に努めて参ります。

文化財につきましても、今年度新たに策定される上之国館跡保存管理計画のもと、保存整備と公開活用の推進を図ると共に歴史文化遺産への理解と関心に繋がるよう施策を講じて参りたいと考えます。

町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって最良の年となりますようご祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成二十三年 元旦

